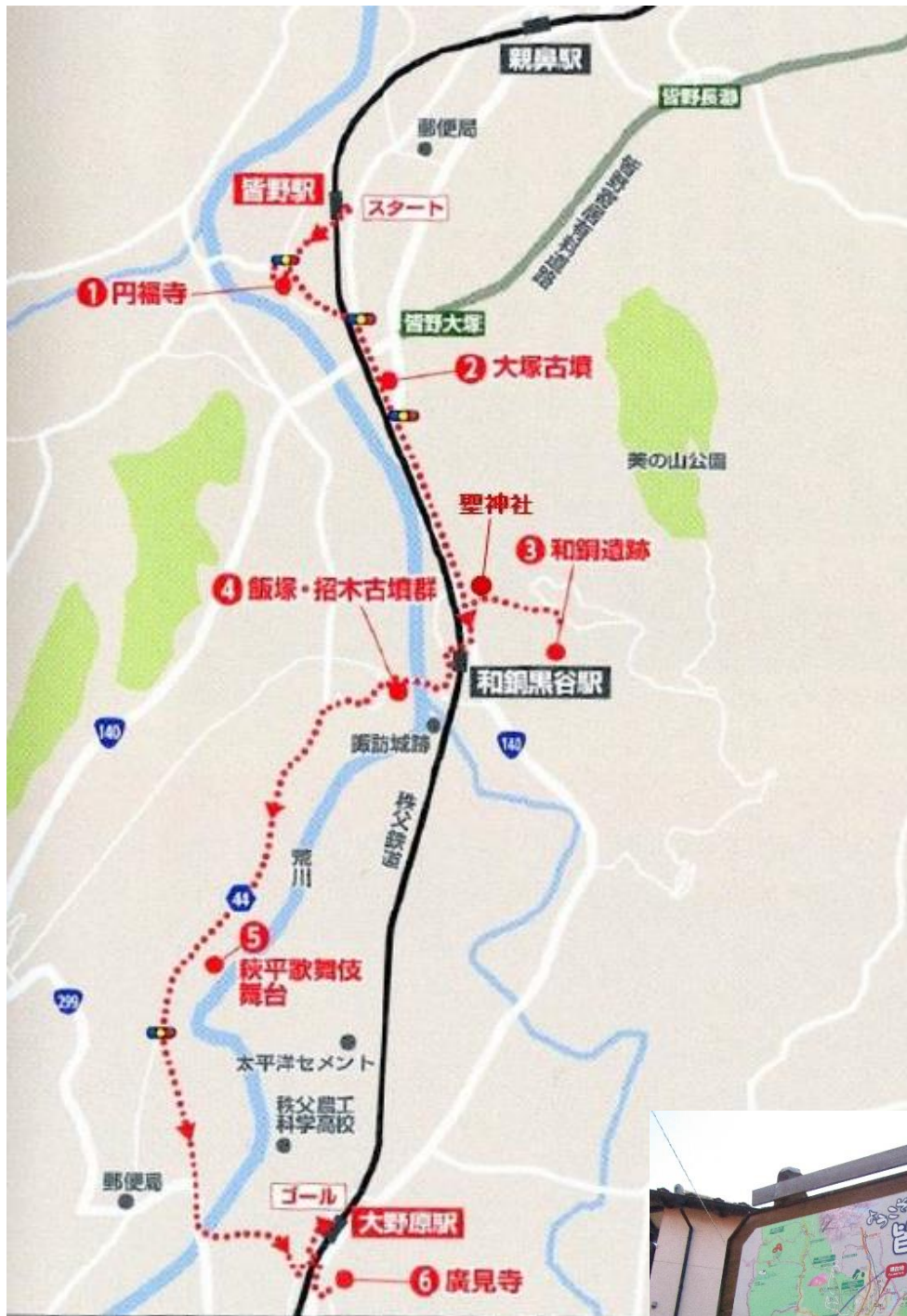


2020年10月度ハイキング（皆野古墳群と和銅遺跡見学）の報告 2020.10.04

2020年10月2日(金)、皆野町から秩父市の入口にかけての大規模な古墳群や和銅遺跡を巡るハイキングに出かけ、秋晴れの日、豊かな自然の中で、新鮮な空気に触れてきました。

ハイキングルート(約10km)は以下の通り。今回の参加者は12名でした。



- 9:30 皆野駅
↓ 600m
- 9:40 円福寺
↓ 950m
- 10:05 大塚古墳
↓ 1.4km
- 10:40 聖神社
↓ 500m
- 11:15 和銅遺跡
(昼食)
↓ 1.5km
- 12:45 飯塚・招木古墳群
↓ 1.6km
- 13:40 萩平歌舞伎舞台
↓ 2.6km
- 14:40 廣見寺
↓ 400m
- 15:15 大野原駅

9:30
皆野駅前の案内図で
行き先確認



9:35
皆野駅前から円福寺へ向かう





9:40

円福寺本堂に参拝
(秩父七福神の一つ・大黒天を祀る)
(平将門の開基といわれている)

9:50

円福寺境内はずれには満開の曼珠沙華
(白い花もチラホラ)



9:55

棕(むく)神社を参拝
(箕山(美の山)を信仰の対象とする里の氏神の
総鎮守)



10:05

国道140号を大塚古墳へ

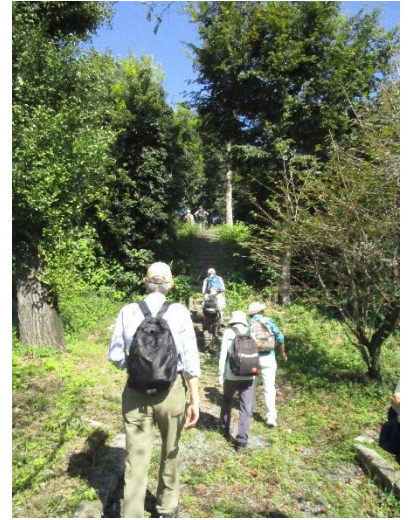
10:08

大塚古墳
7世紀後半(古墳時代)に築造されたと推定
秩父地域では最大規模(直径35m、高さ7m)





10:10
秩父地域では
最大規模の円墳
(直径 35m、高さ
7m)
標高7mの登山



10:15
古墳脇の公園で小休止

10:25
聖神社へ向けて国道140号を



10:40
聖神社参道を本殿へ





11:45
聖神社本殿へ参拝
ご神体はニギアカガネであり、「銭神様」とも呼ばれている。

708年(慶雲5年)我が国初のニギアカガネ(自然銅)が発見され、朝廷に献上された。(この年慶雲から和銅元年に改元された)

これがきっかけで「和同開珎」が鑄造された。

10:55 和銅遺跡に向かう一行



11:15 和銅遺跡にある和同開珎のモニュメント前で集合写真

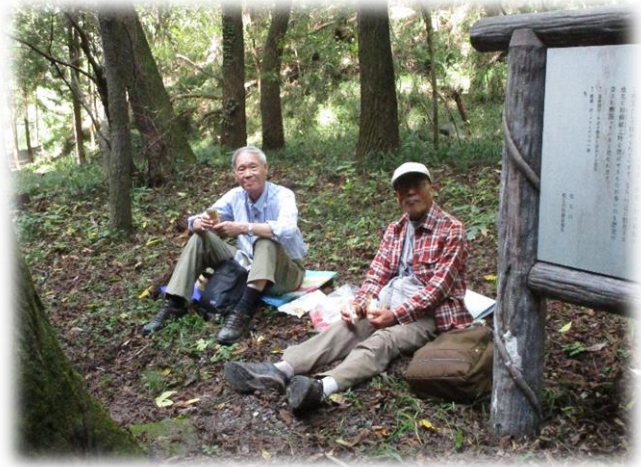
和銅: 日本初の自然銅(ニギアカガネ)(ニキ: 熟をあらわし精錬を要しない純粋な銅)

和同: 「天地和同」「万物和同」などの古語から「やわらぎ」「なごやかに集う」という意味あい
和銅とは直接的な結びつきは無いようです。

開珎: 「開」は開始など開く意味。「珎」は珍しいの「珍」にあたとされること。



和銅遺跡で昼食



12:10
銅の露天掘り跡

12:15 昼食後 和銅黒谷駅へ向う



12:40 和銅大橋を渡る時、乗馬の人とすれ違い



12:42 和銅大橋から荒川を望む



12:45 飯塚・招木古墳群



古墳群

南北 1.3km、東西 400mの範囲に1222基の古墳が存在する。円墳が主体。7世紀から8世紀のもの。

13:30 古墳群を過ぎひたすら次の見学場所
萩平歌舞伎舞台へ向かう



13:40 萩平歌舞伎舞台・精進堂へ到着
舞台は農村歌舞伎が盛んな明治初期の建造





精進堂は天保年間(1830-1844)の建築



14:10 車の少ない裏道を行く一行



14:15 秩父橋で小休止(右後方は武甲山)



秩父橋より美の山
荒川を望む



14:40 廣見寺の飛龍門
山門には阿吽の仁王像がありました



14:45 四国八十八ヶ所を回ったと同じご利益があるといわれる遍照苑



14:48 武甲山の遥拝所



15:20
大野原駅で解散後、電車待ち
(お疲れの方も...)

前日までの曇天模様も一変し、秋晴れに恵まれ、日なたを歩いて居ると汗ばむ陽気でした。朝は冷え込み、皆さん寒さ対策をしっかりと集めて頂きましたが、休息をとる度に一枚脱ぐ方が多くなりました。

久々に約10km余りのハイキングでお疲れの方も多かったのではと思いますが、皆様のご協力のお陰で、大きなトラブルもなく無事に完歩できたこと、幹事より感謝申し上げます。

参加の皆様、大変お疲れさまでした。

次回は、11月6日(金)「多々良の自然、芸術探訪」が福祉・環境科の担当で開催されます。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

記：加藤 治朗(ふる伝)